

専門職のためのコミュニケーション障害講習会

吃音・失語症・研究法の実践的理解

第75回
講習会

吃音臨床初歩

— 小児期から成人期まで —

講師:久保田 功 先生(元 近畿大学病院 言語聴覚士)

第76回
講習会

失語症臨床の最前線

— 喚語障害に対するセラピーの理論と臨床 —

講師:上間 清司 先生(武蔵野大学) 相互活性化モデルの紹介・応用

橋本 幸成 先生(目白大学) WEAVER++/ARCモデルの紹介

石井 由起 先生(杏林大学) SFA法・PCA法

津田 哲也 先生(県立広島大学) RISP法・VNeST法

第77回
講習会

コミュニケーション障害の質的研究

— 修正版グラウンデッドセオリーアプローチの基礎 —

講師:佐川 佳南枝 先生(京都橘大学)

各講習会の開催概要

定員 各200名

参加費(1講習会につき)

お申込み1件につき
システム使用料220円が必要になります

会員* 3,000円

非会員 6,000円

学生 2,000円

*「日本コミュニケーション障害学会」会員に限ります

詳細および

申込はこちら



申込締切 2025年11月28日(金)

オンデマンド 2025年12月6日(土)12:00 ~

配信期間 2026年2月23日(月)24:00

主催
お問い合わせ

日本コミュニケーション障害学会
学術事業部 事務局 jigyoubujacd@gmail.com





各講習会のご紹介



第75回

吃音臨床初歩 —小児期から成人期まで—

2021年に『幼児吃音臨床ガイドライン（第1版）』が発表され4年が経過しました。幼児の吃音の発症率は8～11%とされており、そのうち7割以上が自然に治癒することが知られています。しかし、どのお子さんが自然治癒するかは予測できないため、幼児期に吃音が見られる場合には、何らかの対応が必要です。また、近年の研究により、吃音の発症原因の多くは「育て方が悪い」といった理由によるものではないことが明らかになっています。しかしながら、その事実を知らない養育者も多く、罪悪感を抱いてしまっている方が少なくないと考えられます。言語聴覚士をはじめとする言語臨床家は、当事者と養育者の双方に対して、適切な支援を行うことが求められます。

さて、吃音への対応に自信が持てず、相談を受けても一歩踏み出せずにいる言語臨床家の方も少なくないのではないでしょうか。

このたびの講習会では、近畿大学病院にて長年に渡り言語聴覚士としてご活躍され、退職後もフリーランスの言語聴覚士として臨床を続けておられる久保田 功先生を講師にお迎えいたします。本講習会の目的は、吃音臨床に踏み出せない背景を明らかにし、経験のない方や経験の浅い方でもどのように取り組めばよいかを提案することで、吃音臨床に携わる言語臨床家を増やすことにあります。講習内容は、小児期から成人期に至るまで幅広く扱います。

第76回

失語症臨床の最前線 —喚語障害に対するセラピーの理論と臨床—

喚語障害は、失語症状の中核的な症状であり、生活への影響も大きいとされています。喚語障害へのセラピーは、これまで数多くの報告が蓄積されてきましたが、近年では従来とは異なる理論的背景や介入手法が次々と登場しています。

本講習会では「失語症臨床の最前線」をテーマに、喚語障害に関する最新の認知心理学的・認知神経心理学的研究知見を踏まえた理論的枠組みを提示するとともに、臨床現場に即した実践的アプローチを体系的に紹介します。認知神経心理学分野を専門とし、継続的に学びを続けている講師陣を迎え、喚語障害への理解を多角的に深めることを目的として、4つの講義を通して理論と臨床技能の両面からのアプローチを展開します。

第77回

コミュニケーション障害の質的研究 —修正版グラウンデッドセオリーアプローチの基礎—

コミュニケーション障害の分析や研究方法は多岐にわたります。本学会においては、実験法やアンケート調査法のような量的研究を用いた研究は数多く発表されていますが、質的研究はまだ少ないようです。量的研究は経験したことがあるけれども、質的研究はどのように始めるのだろうか？質的研究に興味はあるのだけれども敷居が高くて取り組めない。そのような思いを持たれている方も多いのではないでしょうか。

そこで、今回は質的研究の中でもよく使われている修正版グラウンデッドセオリーアプローチ（以下、M-GTA）の基本を学ぶことを目標にします。M-GTAはインタビューなどを通して現象を深く理解することのできる方法で、医療・看護・教育・心理など対人援助に関わる実践研究でよく使われています。今回の講習会では、M-GTAを学ぶ前提として質的研究の基礎を学び、M-GTAの考え方と分析手続き、リハビリテーション領域での分析事例や分析の演習を行います。